

5. 概算建設費の算出

全線単線：116～146 億円 / 複線(全線，一部単線)：154～204 億円

※需要条件によって車両形式、軌道条件によって車両基地面積等が異なるため、概算建設費に幅を持たせている

これまでに整理した導入形態，運行計画，関連施設計画等を踏まえ、概算建設費を見直した結果、以下のとおりに整理された。

1) 前提

建設費は「江東区亀戸～新木場間のLRT事業に係わる調査委員会報告書」(平成13年3月 江東区)を基本としながら、以下のとおり試算を行った。

- ・軌道新設及び車両基地にかかる明治通り西側の都有地(港湾用地)の用地費を計上
- ・車両形式、車両基地の規模は需要条件の異なるケース毎に想定
- ・軌道形態は4.路線計画で新たに示した3案(単線，部分単線，全線複線)で試算

2) 平成13年度調査に対して追加した施設

- ・運賃収受システム(ICカード)
- ・運行管理システム
- ・レール及びレール締結装置
- ・用地費(都有地)

3) 概算建設費の算出

表5-1. 需要ケース毎の概算建設費

単位：億円/カッコ内：想定した車両形式

水準	開発の扱い	必要 編成数 バス ネットワーク条件	軌道形態		
			全線複線	部分単線	単線
			10編成	10編成	6編成
高位	基礎需要+既定開発需要+新規開発需要	並行路線再編	204 (5連節車)	168 (5連節車)	146 (5連節車連結)
中位	基礎需要+既定開発需要	並行路線再編	204 (5連節車)	168 (5連節車)	146 (5連節車連結)
		並行路線再編	204 (5連節車)	168 (5連節車)	116 (5連節車)
	基礎需要のみ	並行路線再編	191 (連節車)	154 (連節車)	116 (5連節車)
低位	基礎需要+既定開発需要	現行バス維持	191 (連節車)	154 (連節車)	116 (5連節車)
	基礎需要のみ	現行バス維持	191 (連節車)	154 (連節車)	116 (5連節車)

(内訳については、代表的なものを「参考3. 概算建設費の内訳」に示す。)

注) JR用地・施設に係わる費用は含まない

注) 都有地区間に係る用地面積

車両基地用地=編成数×400㎡

軌道・電停用地(備有地区間)=(複線6m[※]×延長)+(電停数×90㎡)+(すれ違い施設×300㎡)

※単線の場合は3m

用地単価：220千円/㎡ (地価公示 新木場4丁目地点)

